

学校業務改善 推進教育委員会 実施計画書

教育委員会名 淡路市教育委員会

担当者職氏名 特命参事兼指導主事 織田裕行

|  |   |
|--|---|
| 学校数計(24)校  | 小学校19校、中学校5校  |
| 貴委員会における取組を推進するための委員会のメンバー構成   | 代表校長2名、代表教頭2名<br>教諭代表2名、事務職員代表3名<br>淡路市教育委員会学校教育課3名 |
| 1. 貴委員会が勤務時間の適正化を進める上での課題  |   |
| <p>(1) ノー残業デーの完全実施と学校ルールブック作成<br/>教職員の意識改革と業務内容の削減が課題である。</p> <p>(2) 通知簿や指導要録等の学校表簿の電子化と市内学校のフォルダ様式の共通化、児童・生徒情報のデータベース化、校内LAN、電子メールを使った職員間の情報伝達市の情報課と連携し、セキュリティポリシーが策定されたが、PC、プリンター、サーバー等のインフラ整備が課題(23年度に完成予定)である。</p> <p>(3) 部活動指導の改善(大会数の削減、下校時間の徹底、週1日のノー部活デー完全実施、複数顧問体制)<br/>中体連との連携と教職員の共通理解が課題である。</p> <p>(4) 市教委への書類提出の簡素化<br/>市教委提出の書類の簡素化等について規則改定が課題である。</p> <p>(5) 学校徴収金に係る会計の効率化と事務処理負担軽減<br/>3月に学校徴収金事務取扱要綱を制定したが、チェック機能を強化すれば事務手続きが増えてしまうことが課題である。<br/>給食費等の私費未納者に対する外部督促についてのマニュアルの未策定が課題である。</p> |   |
| 2. 「教職員の勤務時間適正化対策プラン」等に基づく、課題解決のための取組方策<br>(該当するものに )  |   |
|  | (1) 調査・照会・提出書類の簡素化、見直し、廃止について                       |
|  | (2) 校務・業務の効率化やIT化について                               |
|  | (3) 学校事務の改善について                                     |
|  | (4) 研修・会議・出張・研究指定等の見直し・廃止について                       |
|  | (5) 学校行事・事業の見直し・廃止について                              |
|  | (6) 部活動のあり方について                                     |
|  | (7) 外部人材等の活用について                                    |
|  | (8) 勤務環境について  |
|  | (9) その他( )  |
| 3. 上記、課題解決のための具体的な取組内容と工夫する点   |   |
| ・淡路市業務改善推進委員会と校長会、中体連、事務担当者会等の各部会、市長部局との連携の中で課題に取り組む。  |   |